

# 音楽・絵画で元気に

## 高校会議所が活動紹介

17・18日

富士宮高校会議所はプロシエクト「アート17日(土)と18日(日)」、(音楽・絵画)で富士宮を元気に！」を活性化事業「みやわん」間町のイオンモール富

「全体のバランスを意識して書いてほしい」と呼び掛けるとともに、一人一人を見て回り「ゆっくりと慎重に」

「力を入れて豪快に」などと運筆のポイントを手ほどきした。

生徒たちは、納得のゆく作品を仕上げるために何度も書き直し、選りすぐりの一枚を提出した。乾燥するため注意されたひもにつるし、仲間と出来栄を比べていた。

同校では、優れた作品を県のコンクールにもつながら、「富士地区児童生徒教育美術展」に出品する。

土宮1階さくらコートで開催する。

絵画は、富士特別支援学校富士宮分校卒業生でつくるアートクラブ「アトリエQUOKKA」の作品を展示し、活動の様子を映像で紹介する。両日の午前11時～午後4時。QUOKKAは同会議所とコラボして毎月1回、西町商店街の空き店舗で活動している。

音楽は、ミュージックサークルのハンドベル演奏が17日午後1時～1時半と3時～3時半、18日午前11時～11時半。同会議所メンバーのキーボード演奏が18日午後1時～1時半と3時～3時半。ミュージックサークルは、富士市の特別支援学級関係者の演奏チームで、同会議所の大木春菜副会長も所属。音楽で癒やしと元気を！と、各地で演奏活動を展開している。

持続可能な社会づくりを目指した活動紹介では、「ベビーカー・チャイルドシートの2R(リサイクル・リユース)」とSDGs実践

「マスマス元肥(げんぴ)」を使って富士宮をマスマス元気に！」の2テーマを取り上げる。マスマス元肥は、ニジマスの加工残渣(ごんさ)と朝霧高原の牛ふんを原料に独自開発したリサイクル堆肥。野菜・花・果樹などの栽培に利用して効果を体験してほしいと、各日先着50人に2・5\*入り袋を試供品として配布する。

そのほか、同会議所のマスコットキャラクター「みやわん」バッジをSDGs推進グッズとして配布する。各日先着100人で子供を優先。

問い合わせは時田定則事務局長(☎090-15008-54339)。

問い合わせは時田定則事務局長(☎090-15008-54339)。